

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第257回)

日時 平成30年1月25日(木) 午後1時半～3時半
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第5会議室
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第5会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、本年に期待する交通事故対策
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、平成29年中の交通事故死者数について
 - 3、交通事故統計(1月24日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る平成29年12月21日開催の第256回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について」と題して開会挨拶がありました。10月に話題になったあおり運転につき、免許取消処分にはどうかという意見が出た。2年前にいわゆる危険ドラッグを服用した者の交通事故が起き、これを処罰の対象としたのに続き、現在検討中である。年末になると死者数の最終結果が気になるところであるが、3650人は難しいとはいえ、今年も良い結果が出るものと期待している。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐(警視)より、

「ゾーン30の推進状況」について解説がありました。生活道路における歩行者の安全な通行の確保を目的として、最高速度30Km/hの規制を実施している地帯を「ゾーン30」と称し、6年前から整備を開始した。その当時の整備目標3000カ所を5年間で達成した。整備前と後を比較すると事故発生件数は24%、対歩行者・自転車事故は19%、重傷事故が約100件減少した。路面に「ゾーン30」の中であることを標示する形式が8割である。今後、より速度低下につながりやすい道路に物理的変化を加える形式も推進し、またより運転者の視覚に訴える道路標示も進めていく。

次に、「シートベルトの着用状況」について解説がありました。本年10月に10日間にわたってシートベルト着用状況の全国調査を行い、運転者・助手席は一般道・高速道とも98%近い数値であり、いずれも微増、後部座席は高速道では3%ほど増加し約75%だが、一般道では36.5%でこちらも微増であった。

次に、「交通事故統計」について解説がありました。部会前日(12月20日)までの死者数は3545人で、前年比202人の減。12月も減少傾向は変わらず、残る10日間も気を引き締めて対策に当たる。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出ました。◎一般道の後部座席シートベルト着用率はこの10年で6%しか伸びていない。高速道路での義務化から10年がたち、そろそろ一般道でも義務化に踏み切るには良い区切りではないだろうか。◎道路の形状を変更するには、予算の問題もさることながら地域住民との合意形成が欠かせない。◎学校の近くでは場合によっては制限速度を20km/hまで引き下げてもよいと思う。などの意見が出ました。

★ 資料代 会員500円
次回、1月25日(木)の交通部会(衆1)に

出・欠 (いずれかに○印)

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
(その際の会費は二千元となります。)

HP <http://www.jidaisassin.jp>

Eメール kiyohara@jidaisassin.jp